

平成28年度 弘前大学グローバル人材育成事業
学生海外PBLプログラム 報告書

申 請 者 (代表者)	所属部局・職名	教育学部・教授
	氏 名	秋葉まり子
事 業 名	アメリカの先進的事例から地域の農業を考える	
事業の概要とその成果		
<p>【派遣者(引率教員, 参加学生)】</p> <p>派遣学生名: 学校教育教員養成課程3年 3名 大学院教育学研究科2年 1名 指導教員名: 秋葉まり子</p> <p>平成28年9月12日～平成28年9月18日</p> <p>【事業概要とその成果】</p> <p>高齢化やグローバル化といった日本の農業を取り巻く様々な環境変化の中で、弘前市においても自立的で、持続的な農業の仕組みづくりが喫緊の課題となっている。そんな中で、本事業を通して学生たちは、1) 国の農業政策の在り方として掲げてきている集約化、高付加価値化、IT化、法人化や農産物の輸出拡大に関し、実際の取り組みや直面する問題点についても、それらを先進的に体現してきた米国農業に直に触れること、それを通して、2) 弘前市の成長に繋げられるこれからの農業の在り方を国際的な視野で捉えることができるようにすることを目的に本事業を実施した。本学との協定校であるテネシー大学マーチン校農業学部での教員や学生達との交流、またテネシー州の大規模農場、農業組合、エタノール工場等への見学やインタビュー調査を通して得られた成果は、学生たちが輸出志向、大規模化、機械化がベースのアメリカ農業の実態と生産性、収益力、そして競争力を目指す農家や農業組合の在り方に実際に触れることが出来、そして、日本、及び弘前市の農業に対する興味を深め、農業と地域の将来を真剣に考えることができるようになった。</p>		